

インタビュー

国土交通省が2017年度に創設したi-Construction大賞の国土交通大臣賞に砂子組(本社・北海道奈井江町)が輝いた。受賞現場は全国第1号のICT土工現場となった道央圏連絡道路千歳市泉郷改良工事。砂子邦弘社長に受賞の喜びと、これまでと今後の取り組みなどを聞いた。

砂子組 砂子 邦弘 社長



「約40回の見学会が開かれ、約800人が来場した。現場の職員もその対応のために勉強することで成長できたと感じている。また、現場見学会に参加した学生が『自分もICT施工がやりたい』との動機で当社への入社希望もあり、大変うれしく、そしてありがたく思っている」

「9年前から情報化施工に取り組んできた。国交省が情

「北海道内企業として北海道開発局長表彰の受賞機会はあるが、国土交通大臣賞の受賞機会は、めったにないこと。大変うれしく思う。そして、現場を担当した者の励みにもなる。現場担当者は、これまで局長表彰を受賞したことがなく、受賞に向けて以前から頑張ってきた。そして今回、局長表彰と大臣賞を受賞できたので、担当者は私以上にうれしいのではないかと。発注者

「現在の課題や将来をどう農業を下支えしたい。そして、

からもいろいろアドバイスを頂き、協力のおかげと感謝している」

「現時点では、まだ部分最適で全体最適ではないことが課題だ。ICTを活用すると、その活用した部分だけは(生産性が)上がる。しかし、ICTを利用するのは現場全体の20%から30%程度。土工量が現場のほとんどを占めている場合は、間違いなく生産性は上がる。また、技術者の育成と資機材の高価格、ドローンなどの外注料金が高いという課題もある。女性を含めた技術者育成に尽力してきた。発注者に対しては、積算

「土木の技術者や女性職員が

部分最適から全体最適へ

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が

「土木の技術者や女性職員が